

今週（1月18日から1月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週初18日は新積み期入りしたことで、一部に様子見姿勢となる先もあり、ビッド水準に広がりが見られた。調達側は地銀・証券業態を中心に▲0.035～▲0.01%、都銀業態の調達レートは▲0.07～▲0.065%と低い水準からのスタートとなった。19日以降はビッド水準が徐々に上昇し、地銀・証券業態を中心に▲0.035～▲0.005%の出会いが見られた。都銀業態は▲0.065～▲0.055%前後の出会いが散見された。無担保コールO/N加重平均レートは概ね▲0.02～▲0.015%での推移となった。ターム物に関しては、1、2Wのショートターム物で▲0.015～▲0.01%近辺で出会いが見られた。日銀当座預金残高は週を通して480兆円台半ばで推移した。

1月20日～21日に開催された金融政策決定会合では、現状維持が決定された。また、「貸出増加を支援するための資金供給」および「成長基盤強化を支援するための資金供給」について、貸付実行期限を1年間延長することが決定された。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.085～▲0.070%程度の水準で推移した。SC個別銘柄では、5年140～146、10年350～361、20年170～175、30年60～69、40年9～13などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、良好な需給環境のもと、警戒されていた3連続の入札も無難に通過した。3Mが▲0.100～▲0.090%、6M物が▲0.105%近辺、1Y物が▲0.120%近辺出合いと、全体的に堅調な推移となった。

18日に実施された短国買入オペは、市場予想よりやや少なめの7,500億円でオフアーされ、平均落札利回較差+0.004%、按分落札利回較差+0.002%と、やや弱めな結果となった。

19日に実施された1Y物の入札は、WI取引において▲0.110～▲0.107%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.1128%、按分落札利回▲0.1108%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.120～▲0.117%出合いと、堅調に推移した。

20日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.093%での出会いが見られる中、平均落札利回▲0.0982%、按分落札利回▲0.0962%と、しっかりした結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは▲0.105～▲0.1015%出合いと、堅調に推移した。

22日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.097～▲0.095%での出会いが見られたものの、平均落札利回▲0.0922%、按分落札利回▲0.0882%と、無難な結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは、入札と概ね同水準で推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、食料品や小売、不動産業態で大型の発行が見られたほか、化学や鉄鋼業態でもまとまった額の発行が見られ、償還総額4,500億円程度に対して、発行総額5,500億円程度と発行超のマーケットとなった。市場残高は週を通して25兆円台前半と先週に引き続き高水準で推移しており、12月末の残高（23兆5,654億円）から約1兆5,000億円の増加となっている。発行レートについては、CP等買入オペ見合いや新型コロナ金融支援オペの担保確保の買いニーズからか、対象となる銘柄についてはその大半がマイナス圏で推移している。特に、発行頻度が低く、金額が小さい稀少銘柄に関しては過去最低水準でのマイナスの買いも見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/18 (月)	28,242.21	0.045	103.72	△ 0.024	△ 0.082	4,860,000
1/19 (火)	28,633.46	0.040	104.00	△ 0.021	△ 0.081	4,879,700
1/20 (水)	28,523.26	0.035	103.92	△ 0.019	△ 0.081	4,852,000
1/21 (木)	28,756.86	0.030	103.53	△ 0.018	△ 0.080	4,868,100
1/22 (金)	28,631.45	0.035	103.58	△ 0.016	△ 0.080	4,873,900

来週（1月25日から1月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/25 (月)					
1/26 (火)	12月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	40Y 5,000億円 1/27発行			米FOMC(1日目) 11月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 1月の米CB消費者信頼感指数
1/27 (水)	11月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)				米FOMC(2日目) 12月の米耐久財新規受注
1/28 (木)	12月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	2Y 30,000億円 2/1発行	交付税借入 10,000億円 2/5借入		10-12月期の米GDP速報値 12月の米新築一戸建て販売件数
1/29 (金)	決定会合における主な意見(1月20・21日分 8:50) 12月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 12月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 1月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 12月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 12月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 67,000億円 2/1発行			12月の米個人所得・消費支出 1月のシカゴPM景況感指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/25 (月)	500	▲ 14,400	▲ 13,900	CP買入 社債買入 ETF買入	▲ 400 ▲ 100	200	▲ 300	▲ 14,200	TB3M発行▲73000償還73700 TB6M発行▲38000償還12100 流動性供給▲4000
1/26 (火)	1,000	0	1,000				0	1,000	交付税借入▲10000期日10000
1/27 (水)	0	▲ 3,000	▲ 3,000	社債買入 新型コロナ支援	▲ 68,800	2,000	▲ 66,800	▲ 69,800	40Y発行▲5000
1/28 (木)	0	▲ 1,000	▲ 1,000	全店共通	▲ 4,100		▲ 4,100	▲ 5,100	
1/29 (金)	400	▲ 1,100	▲ 700	CP買入		6,000	6,000	5,300	交付税借入▲10000期日10000
週間合計	1,900	▲ 19,500	▲ 17,600	—	▲ 73,400	8,200	▲ 65,200	▲ 82,800	

1/25は日銀予想、1/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続き高水準での出合いが続くと考えられる。無担保コールO/N物は概ね▲0.05～▲0.005%程度での出合いが予想される。レポ市場は、GC T/Nは▲0.085～▲0.070%程度での推移を予想する。短国市場は、29日に3M物の入札が実施予定となっている。需給やレート水準を含め、市場動向が注目される。また、26日に実施が予想される短国買入オペのオファー額にも注目したい。CP市場は、26日にCP等買入オペが6,000億円で実施予定となっている。良好な発行環境から市場残高が高水準で推移する中、一定の売却ニーズはあると見られる。按分レートがどの程度で決着するのか注目される。

主要なイベントは、海外では26～27日にFOMC、28日に10-12月期の米GDP速報値が予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。